

小松公述人より提出された文書による意見の写し

「仙向町」という歴史的な価値について。

旧来 原・里 (他に向原・栗の沢・北の上等々) 等の
 区介により 坂本、坂本台、行磨谷等々^{アザ}の
 名称がありました。現在も土地台帳には
 使用されて居ります。

住居表示の事務的な処理について。

現在行政の処理方法としては仙向町を
 東西・南北に分割処理の考え方を受止め
 られます。将来に向つての方策としては又分割
 自可と致しますが 全地域同時に施行
 すべきと考えます。
 一部地域の^{アザ}分割方法については
 一考を要すると考えます。

水道山地区の名称

現在この地域の学区である坂本小学校
 の校歌は開校以来次の歌詞を唄われています。

歌詞(2)

水道山のその名のように
この横谷の源は 広がる大地の
息吹を受けて強く脊を呼びかけている
まことの心響きあう 皆の坂本・坂本学校

現在まで多数の子供達が卒業し成人となり
親として社会で活躍して多くの教員となります。
水道山で育った子供達へ——

当時坂本町内会の一部として活動していた
地域を浄水場のある山の上を分割してと
いう事が発案され種々話し合いの結果
水道山町内会が発足致した。

以上概略の説明ですが希望としては次の
方法の考慮頂ければと思います。

行政の案では現在この地域は

水道山・曇が丘・曇の丘の3地区

となり住ります。

如何町の名稱を後世に残す為一案として

仙何水道山、仙何巒の丘、仙何星の丘
等の頭に仙何の名稱を付す事も考之られ
ます。

又仙何西の名稱の場合に

仙何西 / 丁目から3丁目と

1丁目は元々水道山 2丁目は巒の丘等の
次代の人々に由り伝へられたる様に各地区の
一体感を無視しなす方法を是非
既に慮載きたいと思ひます。

以上